

どうぶつとなかよし —モルちゃんげんき！だいさくせん—

第1・2学年複式 生活科 6月 2時間+日常の世話活動 附属新潟小学校 教諭 三星 雄大

1 本単元で目指す姿

飼育する上で生じた課題の解決に向けた方法を見だし、モルモットへのかかわり方を考える子ども

具体的には、モルモットを飼育する上で生じた課題に対して、モルモットの世話に関する知識や季節の変化と自分たちの生活との関係に対する知識を基に課題を解決する世話の仕方を収集・選択・判断しながら世話をを行い、自分がモルモットにどのようにかかわることが大切なのかを振り返る姿である。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

		「見方・考え方」		
生活科	○ モルモットを自分とのかかわりに着目し、自分の生活や知識と関係付けて考えること（以下：身近な生活にかかわる「見方・考え方」）			
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
	○季節の変化と自分たちの生活との関係に対する知識 ○モルモットの世話に関する知識	○モルモットの世話の仕方を収集・選択・判断する力	○モルモットへの親しみをもち、大切にしようとする態度	

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	★資質・能力	評価する対象
				・予想される子どもの反応	◎評価
1	1	○ モルモットとのかかわり方を追究する学習課題を設定する。	◆ モルモットが元気に生活できる適正気温を超えた写真を提示し、影響を問う。 【働き掛け1-①】 ◆ モルモットがどのように過ごしていたら嬉しいかを問う。 【働き掛け1-②】	【学習課題】 夏にモルモットが元気でいられるお世話をしよう	
		○ 学習課題を解決するための世話の方法を予想し、解決に必要な世話の仕方を収集する。	◆ 学習課題を解決するための予想を問う。 【働き掛け2-①】 ◆ 解決に必要な世話の仕方を収集する場を設定する。 【働き掛け2-②】	★生活科①② ①②寒いときは、ヒーターを敷いていた。だから暑いときは、クーラーみたいに涼しくなるものを使えばいいと思う。 ・生っちゃんといちちゃんが元気であるための世話の仕方が三つあることが分かった。この世話をして、生っちゃんといちちゃんが元気でいられるようにしたい。	発言、ワークシート ①②寒いときは、ヒーターを敷いていた。だから暑いときは、クーラーみたいに涼しくなるものを使えばいいと思う。
	○ 収集した世話の仕方を選択・判断して世話をを行い、振り返る。	◆ 世話の仕方を選択・判断させる世話活動の場を設定する。 【働き掛け3-①】 ◆ プレゼンテーションアプリでまとめさせる。 【働き掛け3-②】	★生活科①②, 協働性, ツール活用能力 ①② 6月22日 26.5度 凍らせたペットボトルを小屋のそばに置きました。なぜかという、26度を超えていたからです。小屋も汚れていたため、2回掃除をしました。	VTR ロイロノートのデータ ※協働性とツール活用能力は、リフレクションタイムにおいて自覚を促す。	
	○ 学習課題を解決するためのかかわり方を判断する。	◆ 獣医師も交えた情報交流の場を設定し、これから大切にしたいことを問う。 【働き掛け4】	★生活科②③	ワークシート記述 私は、あいちゃんと生っちゃんが大好きです。いつも元気でいてほしいです。だから、一生懸命にお世話をしてきました。どんなお世話が必要かも一生懸命に考えました。宮川先生から、生っちゃんといちちゃんが元気ですと言われたときはほっとしました。頑張ってよかったと思いました。でも、夏はまだ続くから気温と小屋の汚れ方をよく見てその日のお世話で何をするといいのかを考えていきます。	
働き掛け3の後		○ 発揮した資質・能力を自覚する。	◆ 「モルモットとのかよし日記」を活用して振り返る場を設定する。 【働き掛け5】	★生活科①②③	なかよし日記記述 6月22日 26.5度 凍らせたペットボトルを小屋のそばに置きました。なぜかという、26度を超えていたからです。小屋も汚れていたため、2回掃除をしました。明日も気温や小屋の汚れ方をよく見て、お世話をしよう。

